



伊豆の国市 議会だより

2022年5月1日発行

No.64

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎055-948-1417 FAX055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>



守山



願成就院



眞珠院

3月定例会

- 常任委員会報告 …… 2～3
- 一般質問 …… 4～9
- 審議結果・賛否一覧 …… 10～11
- トピック・議会の動き …… 12

守山周辺

守山西公園は自然と触れ合える公園として整備され、守山周遊の歴史散策コースのポイントに利用されています。周辺には願成就院、眞珠院、北条時政の館跡、北条政子産湯の井戸などがあります。



総務観光建設委員会

伊豆の国市入札監視委員会条例の制定について

■1年間の入札や契約を全て調査するのか。

全ての事業を調査するとなると日数、時間、手間もかなりかかるため、抽出という形で対応を考えている。なお、対象事業の一覧の中から、行政側がピックアップするのではなく、委員に任意で選んでいただく。

伊豆の国市長等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について

■この条例を適用するときには住民監査請求があった場合に適用なのか。

住民監査請求を受けて、職員に対する損害賠償等の請求をする行為が適用になる。

伊豆の国市消防団条例及び伊豆の国市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

■この条例を制定するにあたって、その経緯は。

消防庁が消防団員の処遇等に対する

検討会を設置し、その中間報告を受けて条例を改正するもの。



消防団員の訓練

伊豆の国市犯罪被害者等支援条例の制定について

■警察と市は連携ができてきているのか。

個人情報等の条例も絡むので、条例が決まって施行するまでの間に、市と警察、もしくは市と認定NPOの犯罪被害者支援センターと協定書を結び、情報のやり取りを考えている。

令和4年度伊豆の国市一般会計予算について

■広報配達委託料192万4千円は区に入っていない方への対応は。

広報紙については公共施設にも配置している。市内の郵便局、JA、マックスバリュ、セブンイレブンなどに配

架している。

■大河ドラマ活用事業 周遊コンテンツ制作業務委託料1270万円の説明を。

補助金を活用する内容になっている。例えば大河ドラマをメインとした市内周遊につなげられるようなトリックアートや、撮影スポットにARを活用する。そして市内を周遊させる仕組みを作った中で、SNSで取り上げても

らい、伊豆の国市、大河ドラマ館、北条義時などを全国的にPRしていきたいと考えている。

ARは、オーグメントド・リアリティの略で、「拡張現実」を指します。実際にある画像や映像とCGを合成することで、現実の世界に仮想空間を作り出す技術です。

■道路施設維持補修事業 道路樹木予防伐採業務委託料500万円の事業内容説明を。

道路樹木予防伐採業務は、初めて取り組む事業で、災害等が発生した場合、木が倒れたことによる停電の発生を事前に防止するもの。

道路管理者と道路沿いにある電線・電柱の管理者が共同で伐採を行う。

令和4年度伊豆の国市水道事業会計予算について

■固定資産購入費の車両運搬具購入費2200万円、加圧式の給水車を購入することによって、具体的に便利になる点について説明を。

給水車については、加圧ポンプが装備され、医療施設や福祉施設に設置している受水槽への給水もできる。7階建て程度まで給水できる仕様の給水車を購入予定。

災害時には、伊豆の国市のみならず、他市町の給水の応援活動にも役立つのではないかと想定している。

令和4年度伊豆の国市下水道事業会計予算について

■営業費用管きよ費のカメラ調査など補助金を使うメンテナンスの内容説明を。

雨天時浸入水の解析調査は、南條から四日町のほぼ全域を行い、カメラ調査は、静岡銀行韮山支店から東部特別支援学校を通り、エスポット周辺まで行う予定。

現在市内に31カ所あるマンホールポンプ施設の定期点検などを行う。

福祉文教経済委員会

令和4年度伊豆の国市高齢者福祉施策のあり方審議会条例の制定について

■高齢者施策については過去、あり方検討会としてやってきており、ここで審議会条例を制定する理由は何か。

これは市長の諮問に対して答申を行う、条例に基づく諮問機関。

高齢者の福祉は市民にとつて重大な問題と捉えているので、定期的にPDCAサイクルの中で見直しをしていきたい。

Plan	(計画)
Do	(実行)
Check	(評価)
Action	(改善)
P D C A	

■社会福祉費を抑えていくための見直しというところが一番の目的なのか。

社会福祉費の中で高齢者の医療費と介護保険給付費が大きな支出を占めている。介護予防につながる取り組みを行うことで介護の認定を受けることを遅らせ、介護給付費を減らし、社会福祉費を抑制することにつなげていくと考えている。

令和4年度伊豆の国市一般会計予算について

■民生児童委員活動事業1802万7千円について、民生委員は定員128人であるが、現在の人数と今後につ

てどのように捉えているか。また、ペアサポーターとは。

就任が122人で欠員6人。今後は活動しやすい環境をつくっていく。

ペアサポーターは民生委員が指定するもので、一人で回し切れないような活動をサポートするもの。現在13人が活動し、来年度は20人分を計上。

■高齢者福祉タクシー等利用助成4740万円の根拠は。

対象者7900人、配布率75%、利用率80%として計算した。

■小水力発電基礎調査業務委託料191万4千円は①どのような効果が見込まれるか。②河川とはどこか。③試算では平均的家庭の何戸分が賄えるか。

①国も政策として積極的に再生可能エネルギーの導入を求めていくとしている。太陽光・風力は災害の危険・景観の問題があるが、小水力はそれらの心配なく取り組める。②河川とは葦山の舟口川と、大仁の深沢川。③環境省は2河川で3700キロワットの能力があるとしており、4500世帯分ぐらいの電気が賄える試算。

■生ごみ減量・資源化推進事業で、生ごみ処理機器購入者への補助を令和4年度から廃止する理由は何か。

合併当初からやってきた事業で、一定の効果は得られたと考える。今後は食品残渣を発生させない取り組みをしていく。

■地域農業活性化事業331万7千円の長者原地区での高収益作物転換とは。

長者原地区は水はけが悪いので、排水路整備や暗渠排水整備により、コメではなく、より単価の高いものを栽培できるように畑にしようという事業。

■歴史ガイド運営事業491万8千円について、無料のガイド料を有料化して会の自立を考えないのか。

現段階では有料化していないが、ガイドのスキルアップを図り、単独の事業としていくよう努力していきたい。

■地域医療推進事業の「地域医療構想」とはどのようなものか。

本市は、医師・看護師不足、介護人材の確保の必要、産科医療の空白の解消などの問題がある。これらを解決するために在宅医療、地域医療について研修し、多職種連携を図り、地域包括ケアを進めていくというもの。

令和4年度伊豆の国市国民健康保険特別会計予算について

■人間ドック等委託料1千万円につ

て、700人分から500人分に減らした理由は。

平成30年以降500人を超えていないので。

令和4年度伊豆の国市後期高齢者医療特別会計予算について

■特別徴収と普通徴収の比率は。

約7割が年金天引きによる特別徴収、3割が納付書等の普通徴収となる。

令和4年度伊豆の国市介護保険特別会計予算について

■介護保険システム改修委託料44万円はどのようなものか。

特定個人情報データのレイアウト改版に伴うもので、毎年6月に改修されている。

令和4年度伊豆の国市楠木及び天野揚水場管理特別会計について

■電気料について、楠木揚水場が77万円、天野揚水場が156万円だが、原油価格が昨年から上がっている状況を見込んであるのか。

原油価格の高騰は想定しており、一番高かった時の電気料は確保している。



市の健診ガイド